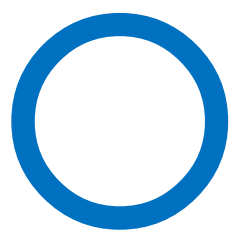


世界糖尿病デーにあわせてブルーライトアップ !!



World Diabetes Day

世界糖尿病デーは、1991年に国際糖尿病連合（IDF）と世界保健機関（WHO）により制定され、

2006年の国連総会で公認された日です。

世界糖尿病デーである11月14日は、インスリンを発見したフレデリック・バンティングの誕生日にあたります。

また、糖尿病の予防や治療を喚起するためのシンボルマークはブルーサークルで、世界糖尿病デーの日を中心にいろいろな場所や建物が青色にライトアップされます。

私たち「とくしま未来健康づくり機構」も11月13日～11月30日 17：00～22：00の時間帯で、前庭右側立ち木にブルーライトアップを実施します。

糖尿病は、一般的に死に至る病気との認識は薄いですが、世界のどこかで、6秒に1人が糖尿病の引き起こす合併症などが原因で命を奪われています。

しかしながら、糖尿病には痛みなどの自覚症状が少ないことから、疑いがありながらそのまま治療を受けないケースが多くあります。

脳卒中、失明、腎臓病など糖尿病による合併症の多くは適切な治療を続ければ予防が可能です。

今回の世界糖尿病デーが、ご自分やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考え、予防に向けた一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

